



平成 20 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名 新光製糖株式会社
代表者名 代表取締役社長 樋口洋一
(J A S D A Q ・ コード 2113)
問合せ先
取締役総務担当兼企画室長 砂岡睦夫
T E L (06) 6939-1201

平成 2 1 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (連結・個別) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 2 1 年 3 月期(平成 2 0 年 4 月 1 日～平成 2 1 年 3 月 3 1 日)の業績予想について、平成 2 0 年 4 月 2 5 日付当社「平成 2 0 年 3 月期決算短信 (連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 2 1 年 3 月期 連結業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期累計期間 (平成 2 0 年 4 月 1 日～平成 2 0 年 9 月 3 0 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益
前回予想 (A)	6,180	370	430	230
今回修正 (B)	6,181	431	529	327
増減額 (B - A)	1	61	99	97
増 減 率	0.0%	16.5%	23.2%	42.5%

(2) 修正理由

当第 2 四半期累計期間の営業利益は、原料糖仕入れ価格の上昇及び燃料費を中心とする製造コストの上昇がありましたが、適正な価格水準での販売を行うことができ、計画を上回る見込みです。経常利益及び四半期純利益は、持分法適用関連会社の国産甘しゃ(サトウキビ)糖生産量増加などによる予想以上の好業績が寄与し、計画を大幅に上回る見込みです。

平成 2 1 年 3 月期通期の連結業績予想につきましては、当第 2 四半期累計期間の上方修正分が寄与するものの、当第 3・第 4 四半期の国内景気の先行きが極めて不透明であること、原料糖仕入れ価格の上昇及び引き続き燃料費を中心とする製造コストの上昇が見込まれること、及び持分法適用関連会社の業績は、本年 12 月より開始予定の甘しゃ糖生産量に左右されること (原料サトウキビの処理量は、今後の天候要因により増減する) などより、従来公表しております予想からの変更はありません。

(3) ご参考：前期の実績（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期	6,207	497	562	348
通 期	12,218	864	1,054	659

2. 平成21年3月期 個別業績予想の修正等

(1) 第2四半期累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回予想（A）	6,100	400	420	230
今回修正（B）	6,074	443	475	267
増減額（B－A）	△25	43	55	37
増減率	△0.4%	10.8%	13.3%	16.3%

(2) 修正理由

当第2四半期累計期間は、原料糖仕入れ価格の上昇及び燃料費を中心とする製造コストの上昇がありましたが、適正な価格水準での販売を行うことができ、営業利益、経常利益、当期純利益ともに計画を上回る見込みです。

平成21年3月期通期の個別業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の上方修正が寄与するものの、当第3・第4四半期の国内景気の先行きが極めて不透明であり、また原料糖仕入れ価格の上昇及び引き続き燃料費を中心とする製造コストの上昇が見込まれることより、従来公表しております予想からの変更はありません。

(3) ご参考：前期の実績（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期	6,126	510	522	303
通 期	11,902	852	878	496

以 上